



たけのこの香ばしい香り

春の息吹を感じて

春の山菜会

春の山菜料理を楽しむ恒例の行事「春の山菜会」が、5月13日(金)に緑水湖畔のレークサイド・アリーナで行われました。

毎回趣向を凝らした、山菜会も今回で春秋あわせ、90回を数え、山陰各地から417名が参加し、旬の料理を楽しみました。

場内では、南部町特産品の即売コーナーも設けられ、特に「イチジクゼリー」は、好評でした。また、たけのこ田楽の香ばしいにおいが場内を包み込み、食欲をそそられました。

今回は、ワラビ、フキ、ゼンマイなど27種類の山菜を使い、ぎぼし(ぎぼつし)の白和え、ウドのきんぴらなど22品目の料理で参加者を迎えました。

初めて参加したという品川一枝さん(円山)は、「誰でも参加できるのを知らなかった。山菜が好きで、これからも参加したい。」と話されました。



にぎやか山菜会の様子

まちの話題

特産品を身近に

役場職員研修

5月20日(金)に役場職員が職員研修の一環として、朝金の果樹団地で二十世紀梨の袋かけを行いました。

研修には、坂本町長をはじめ、職員18名が参加し、約半日かけて1人200から300袋の小袋をかけました。

職員として特産品に関心を注ぎ、消費拡大などを考えるきっかけになるようにと実施しました。今年採用になった三浦さんは、おいしい梨をつくる大変さがわかりました。」と体験を振り返りました。



役場職員に指導する石塚果実部長



活動内容などを協議

よろしく

区長協議会設立総会

南部町の区長組織としての設立総会が、5月8日(日)にプラザ西伯で行われました。

これまで西伯地区、会見地区にわかれていた区長会ですが、今回、同じ組織として統一し、地区住民の声を届けると共に、町政の円滑な運営に協力、参画していくことを目的に組織されました。

総会では、会則、会計、役員を決定し、新たな組織として動き出しました。

見とこと 知つとこと

日々好日

みんなの南部

大きなあれ

さつまいもの苗植え

5月19日(木)にひまわり保育園で、世代間交流事業として年長児の祖父母を招き、さつまいもの苗植えを行いました。

当日は、3歳以上児32名と祖父母9名が参加し、保育園裏の畑でいっしょに畑を耕し、苗を植えました。

子どもたちは「大きなさつまいもに育ちますように」と一本ずついいねいに植えていました。



どんなおイモになるのかな

珍客にびっくり

猿が出没

5月25日(水)、三本木地区に突如として猿が出没しました。猿は4匹で、うち1匹はまだ母猿に抱きつく小猿でした。

第一発見者の安藤さんによると、前日の昼ごろから現れ、近くの畑で、イチゴやジャガイモを食べていたということです。家の中に入ったたり、近所の小さい子どもたちに襲いかかったりしたら大変ということで、さっそく、産業課が犬用の檻を設置。しかし、その後は姿をくらましていずこへ?どこかへ移動の途中に立ち寄っただけなのか。

区長の板さんは「生まれてこの方、猿が出たなんてことはない。はじめての体験だ。」とびっくりして話されました。



屋根の上でくつろぐ猿